PRESS RELEASE

2026 年 11 月 2 日
株式会社 ispace

ispace、新たなサウジアラビア法人の General Manager & Managing Director に Anas Al-Shuwayer を任命

長年のビジネス経験とサウジアラビア市場の豊富な知見、および国際的視野を活かす

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード 9348）は本日、当社サウジアラビア法人の General Manager & Managing Director として Anas Al-Shuwayer を 2026 年 11 月 1 日付で任命いたしましたので、お知らせします。Anas Al-Shuwayer はサウジアラビア王国における ispace の事業展開を統括すると共に、ispace がグローバルで培ってきた月面探査分野の知見を成長著しい同国の宇宙産業に活用し、新たな事業開発と戦略的な取り組みを推進します。



ispace S A General Manager & Managing Director Anas Al-Shuwayer（左）と株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田武史（右）

Anas Al-Shuwayer は、これまでサウジアラビアのエネルギー・産業サービス・基幹インフラ・政府組織等における 20 年以上にわたる経験を通じて、事業開発や組織マネジメント、国際的な事業運営等の豊富な知見を有しています。特に事業の立ち上げから成長、複雑な事業マネジメントに加え、サウジアラビア国内外の市場で培った経験を活かし、同国における ispace 事業を次のステージへと牽引することが期待されています。

ispace 参画以前は、Anas Al-Shuwayer はサウジアラビアの Secro において防衛・重要インフラ・エネルギー部門の Director を務め、政府および産業界のステークホルダーとの戦略的な連携を主導しました。また、山九サウジアラビアや Weatherford、Expro でリーダー職を歴任すると共に、石油・ガス関連サービス企業の General Manager として事業の立ち上げから市場拡大、事業運営の統括をしました。これらのキャリアを通じ、サウジアラビアの国家開発方針に沿った組織の成長や能力開発、現地化に向けた取り組みを推進しています。

ispace は 2026 年 1 月に、サウジアラビア王国における新拠点 ispace S A の設立について*1発表いたしました。同拠点は、東京、ルクセンブルク、デンバーに続く ispace の 4 つ目のグローバル拠点であり、サウジアラビア王国の商業および政府、研究機関とのパートナーシップ連携を一層強化することを目的としています。今回の任命を通じて、ispace はサウジアラビアにおける事業展開をさらに推進するとともに、新たな事業機会の創出や国際的な連携を進め、同国のビジョン 2030 および宇宙経済の成長への貢献を目指してまいります。
*1 関連プレスリリース：ispace、サウジアラビア王国に新拠点を設立

Anas Al-Shuwayer は今後、ispace のグローバルチームおよび現地のステークホルダーと緊密に連携し、サウジアラビアにおける事業基盤を構築するとともに、新たなビジネス機会の創出や、同国の宇宙産業の成長を支える戦略的な取り組みを推進します。また、ispace がグローバルで培ってきた知見や能力を活かし、サウジアラビアにおける事業および技術開発への貢献機会を検討してまいります。

■ 株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田武史のコメント

「サウジアラビアは、ispace のグローバルな成長戦略において重要な位置を占めており、同国に強固な事業基盤を構築することは、私たちにとって重要な取り組みの一つです。Anas Al-Shuwayer は次の成長フェーズを牽引するために必要なリーダーシップ経験、現地市場への深い知見、そして国際的なビジネスの視点を有しています。これまで培ってきた事業の立ち上げと成長に関する豊富な経験は、サウジアラビアで事業基盤を構築し、新たな機会を追求するとともに、ispace がグローバルで培ってきた知見や能力を、成長する同国の宇宙産業にどのように活かすことができるかを検討していく上で、大きな力になると確信しています。」

■ **ispace S A　General manager & Managing Director, Anas Al-Shuwayer のコメント**

「サウジアラビアが掲げる独自のビジョンと、成長を続ける同国の宇宙産業は、ispace がサウジアラビアでさらなる発展を遂げていくための強固な基盤になると考えています。これまで培ってきた私自身の経験と、ispace のグローバルチームが持つ専門性を活かし、サウジアラビアにおける ispace の事業をさらに拡大するとともに、持続可能な事業基盤を構築することで、長期的な宇宙開発の歩みに貢献していきたいと考えています。」

■　**株式会社 ispace（https://ispace-inc.com/jpn/）について**

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカ、サウジアラビアの 4 拠点で活動し、現在約 350 名のスタッフが在籍。2010 年に設立し、Google Lunar XPRIZE レースの最終選考に残った 5 チームのうちの 1 チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスおよびデータサービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、新たに月周回の自社衛星を活用した、通信・測位を中心とするルナ・コネクトサービスの提供も目指す。2023 年には民間企業として世界で初めて月面着陸に挑戦するミッション 1 を実施。2025 年にはミッション 2 を実施し、月周回までの確かな輸送能力や、ランダーの姿勢制御、誘導制御機能を実証することが出来た。最速 2027 年には新ミッション 2.5 として月周回衛星 1 基を月周回軌道へ投入することを予定。2028 年[i]には、経済産業省の SBIR 補助金を活用し、日本拠点が主導で開発を進めるランダーモデル「ULTRA（ウルトラ）」によるミッション 3 の打ち上げを予定しており、続く 2029 年[ii]には南極近傍への高精度着陸を目指すミッション 4 の打ち上げを予定している。

――――――――――――

[i] 当該打上げ時期については 2026 年 11 月時点の予定であり、今後変更する可能性があります。なお、当社が補助対象事業として採択された SBIR（Small Business Innovation Research）制度の公募テーマ「月面ランダーの開発・運用実証」の事業実施期間が原則として 2027 年度とされており、SBIR 制度に基づく補助金の対象となるミッション 3 は、当初 2027 年中の打上げとして経済産業省及び SBIR 事務局と合意しておりましたが、2026 年 11 月時点では当社内の開発計画上、2028 年内の打上げとなることを見込んでおります。本変更については今後、関係省庁及び SBIR 事務局と調整中の段階であり、最終的には経済産業省により正式に計画変更が認可されることとなります。

[ii] 2026 年 11 月時点